

**おすすめの本**

2月号



<小学1・2年>



『空はみんなのもの』

ジャンニ・ロダーリ文、関口 英子訳、荒井 良二

ほるぷ出版

空って、みんなの空だよ。だれの目だって、どこまでもひろい空がうつるもの。でも、どうして大地はさかいいだらけなんだろう？ イタリアの国民的な作家ロダーリが軽やかな言葉でつづる、平和を問う絵本。

<小学3・4年>



『ぼくがここに』

まど みちお詩、きたむら さとし絵

理論社

なにかがいる。なにかがある。それだけのこと。そこにいる。そこにある。すべてのものがとてもたいせつ…。100年をみつめてきた詩人、まど・みちおの代表作の宇宙的スケールを、画家、きたむら さとしが描き出す。

<小学5・6年>



『しじんのゆうびん屋さん』

斉藤 倫作、牡丹 靖佳画

偕成社

郵便局で働くガイトーとトリノス。一度も手紙をもらったことがないという灯台守のじいさんにガイトーが手紙を書き、トリノスが配達するが、そこには詩が書かれていて…。小さな街の人々の心を動かす、ふしぎな手紙の物語。

<全学年>



『138億年の子ども大百科』

クリスファー・ロイド編、椎田 敦司訳、瀧下 哉代訳、倉橋 俊介訳

ディスカヴァー・トゥエンティワン

世界のすべてを見に行こう！「知りたい」と「考える」を育てる“世界的子ども百科”の日本語版。宇宙の誕生から現代、未来の世界までのあらゆるテーマをビジュアルに解説する。専門家への質問コーナーや、クイズも収録。

<小学1・2年>



『ねずみのパンや』

上野 与志作、藤嶋 えみこ絵  
 岩崎書店

小さな丘にねずみのパン屋さんがあります。おとなりに住んでいるのは大きいくまさん。ねずみさんとくまさんは親友です。ある日、ねずみさんは、世界中のオシャレなお店があつまる町でお店を開かないかと誘われますが…。



『ちいちゃんのおもちゃたち』

斉藤 洋さく、武田 美穂えり  
 理論社

小学校2年生のちいちゃんは、最近おもちゃで遊ばなくなりました。ちよびり寂しいおもちゃたちは、ちいちゃんや家族の見てない時には、おもちゃ同士で遊んだり、冒険したり…。おもちゃたちのストーリーを3話収録。



『山の学校キツネのとしよいいん』

葦原 かも、高橋 かずえ  
 講談社

図書委員は貸出カードについているバーコードを、ピッと読み取ります。ある日キツネの子が「ピツ」をやってみたやってくる…。山のふもと小学校の図書館司書のかえさんと子どもたちとキツネの子の心温まるお話。

<小学3・4年>



『ちいさな花咲いた』

野中 柊作、くらはし れい絵  
 金の星社

冬も近いある朝咲いた、季節はずれのたんぽぽ。その健気な存在を見つけたのは、子犬のマルと、街ねこのミーシャで…。街のかたすみで懸命に生きる、ちいさなものの友情と、めぐる命の奇跡を描いた物語。



『ふしぎ町のふしぎレストラン 8』

三田村 信行作、あさくら まや絵  
 あかね書房

「ふしぎ亭」は、真夜中だけ開くレストラン。らいおんシェフとひつじママのお店です。おばあさんが注文したのは、金庫の暗証番号を思い出すメニュー。お悩みを解決するため魔法の冷蔵庫に入ると、「ラーメン大通り」が!?



『くいしんぼうのクララ』

なかがわ ちひろ作・絵  
 徳間書店

まちの動物病院で暮らす大きなねこのとらまるは、山の動物たちのお医者さん。夜になると、こっそり「やまの動物病院」を開く。ある晩、まちの先生の患者のやぎのメリーと牛のクララが「急患」でやってきたが…。楽しいお話。

<小学5・6年>



『雪娘のアリアナ』

ソフィア・アンダーソン作、メツカ・カストリオン絵、長友 電子訳  
 小学館

初雪が降った日、<雪娘>を作った12歳の少女ターシャ。雪娘が友だちになってくれたらいいのに、とターシャが願うと、不思議なことが起こり…。ロシア民話「雪娘」をモチーフに、少女の成長と友情を描く。



『西遊記』

呉 承恩作、武田 雅哉訳、トミイ マサコ絵  
 小学館

花果山の石から生まれた石猿・孫悟空はやりたい放題にふるまって天界の怒りを買い、五行山に封じられてしまう。経典を取りに天竺への旅に出た三蔵法師玄奘は、通りかかった五行山で孫悟空の封印を解き、弟子にして…。



『ふたごの魔法使い 1』

ミアム・ボナストレトワール原作、中井 はるの訳  
 Gakken

ふたごの魔法使い、エレナとエドは学校のバスに乗り遅れ、親せきのおばさんの元に転がり込む。そこには、人間の王子がとらわれていて…。友情 & 冒険心にあふれるグラフィックノベル。ジャケットそでに切り取り式のしおり付き。